

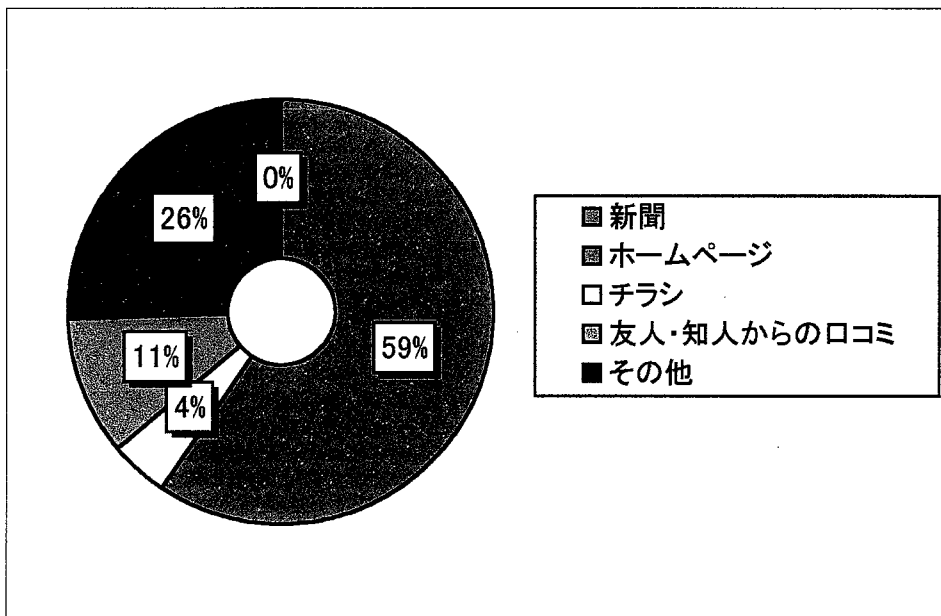
参加者アンケート集計

本フォーラムに参加いただいた方々にアンケートの協力をいただきました。
アンケートの内容および結果は以下の通りです。

- I. 参加者数 81名
- II. アンケート回答者数 47名
- III. 回答率 58%

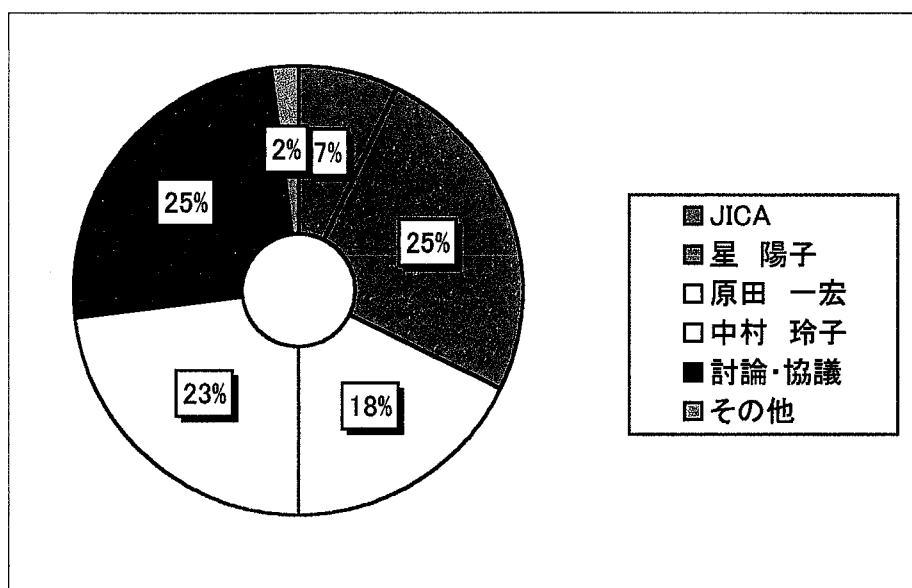
1. 今回のフォーラムを何で知りましたか？

新聞	ホームページ	チラシ	友人・知人からの口コミ	その他	合計
0	28	2	5	12	47



2. 今回のフォーラムで面白かったのは？

JICAの取り組み説明 (JICA森林・自然環境協力部 計画課)	ネパール村落振興・森林保全 (星 陽子)	インドネシア生物多様性保全 (原田 一宏)	インド・チリカ湖湿地保全 (中村 玲子)	討論・協議	その他
7	24	17	22	24	2



JICA	星 陽子	原田 一宏	中村 玲子	討論・協議	その他
7	24	17	22	24	2

3. 現在興味を持っている国または地域と話題があれば教えてください。

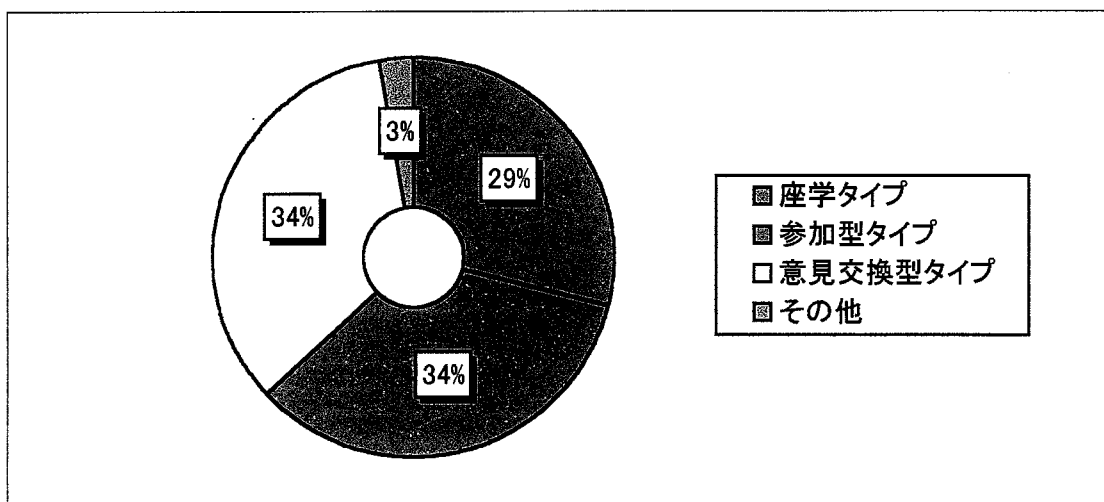
[国または地域]	[話題]
アジア	の 破棄物 について
アジア	の 破棄物 について
アジア	の 森林 について
アジア地域	の 環境教育 について
アフガニスタン	の 環境改善 について
アフガニスタン	の 教育状況 について
アフリカ	の 野生動物保護での現状 について
アフリカ	の 医療福祉 について
アフリカ	の 砂漠化 について
アフリカ	の 森林・砂漠化・生物多様性 について
アフリカ(ケニア)	の 理科教育 について
アフリカ諸国	の 生態系保護 について

アフリカ地域	の 持続的環境管理	について
アメリカ	の 国立公園	について
イスラエル	の パレスチナ問題	について
イラン	の カスピ海	について
インド	の 森林・生物多様性	について
インド・ネパール	の 希少野生生物(ベンガルトラ)	について
インドシナ	の 生物多様性と森林保全	について
インドシナ	の 社会林業	について
インドネシア	の 熱帯林保護	について
インドネシア	の 環境政策と開発政策	について
インドネシア	の 森林	について
欧米NGOおよびドナー	の 援助戦略・JICAとの相違	について
カザフスタン	の アラル湖	について
韓国	の 緑化	について
乾燥・半乾燥地域	の 砂漠化	について
カンボジア	の トンレサップ湖の環境保全・環境管理	について
サブ・アフリカ	の 環境教育・資源管理	について
自然環境保全援助	の 歴史・変遷、そしてこれから	について
世界	の 環境と経済	について
世界	の 教育の経済的意味	について
世界	の 利害関係	について
世界	の 環境問題全般	について
世界	の 生物多様性・希少野生生物・森林	について
ソマリア	の 女性性器の手術	について
タイ	の 森林	について
タイ	の 植林	について
タイ(ウボンタチャタニ)	の 植林・森林	について
中央アジア	の 生物多様性・希少野生生物・水質・森林・ 砂漠化・大気	について
中近東地域	の 植林	について
中近東地域	の 地球温暖化	について
中国	の 水問題	について
中国	の 砂漠化	について
中国	の 砂漠化	について
中国	の 砂漠化	について
中国	の 環境問題	について
中国	の 砂漠化・水質	について
中国	の アルカリ土壌	について
中南米	の PRSPFでの貧困と自然環境保全の対 策・方策	について
中南米(チチカカ湖・アマゾン)	の 希少野生生物	について
東南アジア	の 生物多様性・希少野生生物・水質・森林・ 砂漠化・大気	について
東南アジア	の 生物多様性	について
東南アジア	の 住民参加森林管理	について
東南アジア	の 森林・砂漠化・生物多様性	について
東南アジア	の 生物多様性	について

東南アジア	の 地域住民による天然資源の利用・管理	について
日本	の 希少野生生物保全・保護	について
日本	の 森林	について
日本	の 国立公園	について
日本(西表島)	の 国有林	について
日本(沖縄県)	の 環境破壊・さんご礁	について
日本(沖縄県)	の 基地問題	について
熱帯地域	の 森林保全	について
ネパール	の 村落振興	について
バングラディシュ	の 水質	について
東アジア	の 生物多様性・希少野生生物・水質・森林・ 砂漠化・大気	について
フィリピン	の 地域住民組織	について
フィリピン・パサール	の 環境問題・公害輸出	について
ボルネオ	の BBECプログラムの今後	について
マダガスカル島	の 自然環境破壊	について
マレーシア・ボルネオ	の 沿岸環境破壊	について
南アジア	の 森林資源管理	について
南洋州	の 生物多様性・希少野生生物・水質・森林・ 砂漠化・大気	について
ラオス	の 森林(焼畑問題)	について
ロシア(チェチェン)	の 女性の人権について・虐待について	について

4. 今後どのような催し物、フォーラムに参加してみたいですか？

座学タイプ (講座・講演)	参加型タイプ (実習・実技研修)	意見交換型タイプ (ワークショップ)	その他	合計
21	25	25	2	73



座学タイプ	参加型タイプ	意見交換型タイプ	その他	合計
21	25	25	2	73

5. その他ご自由にご記入下さい。

- 私は大学生です。今回のフォーラムではやや若者も多かったと思いますが、まだまだこれからの将来を考えると少ないのではないかと思います。若者との"コミュニケーション"の機会、引き付けるような企画をお待ちしております。
- [自然科学・社会経済・政治国際]分野の人々(専門家)をバランスよく呼ぶといいと思います。
- 啓発されることが多かった。とくに環境教育の現実・課題が参考になった。「テーマ」も良かった。
- 公開フォーラムをもっと増やして欲しい。
- 非常に興味深く聞かせてもらいました。自然環境保全分野の公開シンポは定期的に行われており、HPでも公開されていてよく利用させてもらってます。今後とも、その時その時にトピックな課題、JICAの協力指針の進捗状況の報告等に関するシンポジウムを期待しています。
- 事例紹介はとても参考になったが、成功例だけでなく、失敗例も紹介してもらいたかった。
- 専門的な話しが多く難しかったです。環境保全の現状、展望について多角的に話しをうかがうことができ、とても意義深いものだったと思います。
- 大学生ですが、とくに環境に興味があったわけではないけど、興味本位で参加しました。非常に勉強になりました。今後、何らかの形で環境に関する勉強をしていこうかと思います。紛争系の講演をやっていただきたいです。
- 社会開発が環境保護と不可分であるという視点は自分にとって新鮮でした。外部へのfollow upのみならず、JICA内部向けにもノートへの議論要旨掲載、MLへの結果報告等の形でフォローされることを期待します。
- 特に討議の内容を聞いていまして、文化の重視、市場の発掘など、まさに日本の林業の現状と重なると感じました。協力隊OBとして森林活動に関わっていた際、日本の森林・水の価値を強く認識しましたが、途上国、外へと目を向けるうちに自分達の足元、コメ文化など揺らいでいると感じました。広い意味におけるコミュニケーション、例えば日本で実際に1次産業で関わっている方がパネリストになるようなフォーラムが将来的にできればもっと面白くなるのでは・・・と思いました。環境プロジェクトに何故、識学教育やジェンダーが大切なのか、星さんの話とその点とても有益でした。
- 「インドネシアの生物多様性保全」原田さんへの質問です。私の考えでは、現地の方々の生活と国立公園の管理という2つの考えは対立していると思うのです。だからこそ、住民の方々に自然保護という意識があるにも拘らず、もし可能ならば、国立公園の土地や資源の利用をするという実状へと結びついていると思います。知っていることと、

生きることは別であります。そこで、インドネシア政府が国立公園を設定する段階での問題点として私が思うのは、生活圏と公園を区別しなかったことです。根本的な問題はここにあると思います。日本の場合も、これに当てはまり、生活圏と国立公園が明確な区別なく存在しています。アメリカのように、国が主導して、国立公園を国の財産として保護していく政策が重要であると思います。その区別が基本となり、地域住民、そして全国民への教育活動が実際に効果をあげる事ができるのではないのでしょうか？私は、現場に出向き活動に参加したわけではないのですが、実際、計画を運営していた原田さんの意見をお伺いしたいです。

- 活発なパネルディスカッションは非常に興味深いものでした。今後、継続してこのような機会を設けて下さることを希望致します。
- 環境について日常できることから始めていきたいと思いました。色々な角度から環境について考えてみたいと思います。非常に参考になりました。よりよい ODA を期待します。
- このような今回のフォーラムを多数開催していただきたいと思います。大変理解度の向上に繋がり、生の声を聞くことができ、大変興味が広がります。もっとこのようなフォーラムの大規模に行ってもらいたいと思います。多くの人々が国際協力を知る場が増えると思います。
- 眠かった。
- 成功例の分析も大事だが、失敗例に対する冷静な分析が必要です。確かに王道というものはないが、今までの JICA の Project(失敗例)から学ぶことはいっぱいあると思う。特に成功している事例は、多くのドナー、NGO(国際・地元)の相乗り状況が多く見られるが、個人的にはその資金的、側面的、および具体的な住民の経済向上、そして保全活動を持続させていく、実質的、資金の調達の側面の話に興味あり。日本での失敗例、成功例、そして途上国での失敗例、成功例、それらを詳細に分析することが、我々が得るものは大きいと思う。当然、自分達がよってたつ生活の拠点で、いかに生活を成り立てていくか、そしてそれを保全といかに結びつけられるか、援助開発者はやはり真摯に自分達のよってたつ場所を見つめるべきだろう。最後に、原後氏の指摘を受けて、援助自体のあり方を問い直す、フォーラムを開催して(自然環境分野に限らず)そこから出発すべきでは。この課題が一番重要なような気がする。日本のシステムの話、そんなに環境保全に人々は関わっているか、どのように作っていったらいいのか、途上国、遠い国の、特別な専門家の仕事だけでなく当事者の視点を持った行動が必要。
- JICA での考え方と、事例における考え方と差があると感じました。JICA はとても多くの情報が集まる場所ですし、集めようと思えば、いくらでも集めることができる組織だと思います。教科書的な考えだけでなく、もっと実践を踏まえた、事例からの経験や情報を活かした考え方を提案してもらいたいと思いました。
- 只今、JICA さんの活動に大変興味があります。私は昨年ネパールに行った経験で、ネ

パール山岳地帯における貧困が地域住民に及ぼしている影響を知り、国際協力に非常に興味を持ちました。今回の参加は非常に有意義でした。

- ▶ 国際協力とは、相手のことを信じてポテンシャルを引き出すことである、ということ再認識しました。そして、一学生である私が、このような場で学ぶことも大事なことだと思いました。
- ▶ 非常に勉強になりました。発表者、パネリストの方々ありがとうございました。このようにフランクに討論できる機会を増やして頂ければと思います。
- ▶ コミュニケーションは相方のアンテナが機能していないと成り立たない。教育はやはり大切。自立的に継続できる種子をまくこと。それも多くの種子でなくても良い。革命の分子ではないが、コマとなる種子をつくること。
- ▶ まず、このフォーラムにおける「環境保全」の定義、位置づけに関する paper を始めに配布して欲しかった。「環境保全」という言葉を聞くと、「環境破壊の起きた場所においてこれからどうするかなどの保全」という「事後処理」の響きがあり、「事前予防」(原因に対するアプローチ)は含まれていないのかな？とってしまう。しかし、途中で配布された資料によると「天然資源管理」のことを指し、「事後処理」と共に「予防」も含まれていると感じた。そのため「保全」という単語を用いたことに対する抵抗感はなくなったが、最初から配布して欲しかった。(この意見は討論の前に書いたため、原後さんの物とは知らず書いてしまいました。でも、「環境保全」の定義について前もって伝えて欲しかったです。)けれども、色々な貴重な話が聞けて、このフォーラムに参加して良かったです。NGOの重要性や環境教育の大切さなど、コミュニケーションを通じての大切さを学びました。
- ▶ このフォーラムを終えての JICA からの意見、フォーラムをふまえてのこれからの展望をお聞かせ願いたいと思う。全体的に専門用語が多くわかりづらい部分もあった。質疑応答について、質問者に最後に「これで回答になっていますか？」という問いかけが必要だったのではないかと思う。
- ▶ この公開フォーラムに参加する以前は、「環境教育とは先進国の人々が途上国の人々に教えること」という考えでした。しかし、このフォーラムでいろいろな先生方の話を聞いて、環境教育とは決して先進国から途上国への一方的なことではないという考えになりました。また、環境問題とは、それぞれの地域によって様々な違いがあるので、現地に行ってから考えていたプロジェクトを対応したプロジェクトに変化させることが非常に大切なのだと再認識しました。
- ▶ 実例をふまえた話を聞ける時間がもう少しほしかったです。特に会場には、私を含めて知識が少ない人間がいたはずですから、学生の方々もたくさんいらっしゃいました。
- ▶ プレゼンに専門用語が多すぎる(もっとレベルダウンして)。日本の小・中学生にもわかるように作り直して、実際に小・中学生(次世代)を対象にした環境教育に活かしたらいかがでしょうか？

- ▶ プロジェクトのきっかけ、プロジェクト推進上の困難さ、プロジェクト全体の資金調達等の問題に対し、詳しい説明が欲しかったが、時間的には難しいですね。研究会、勉強会等で検討すべき問題と思います。
- ▶ 外国人による講演・意見交換も希望したい(特に自然環境分野)。外国人の講演・指導による自然環境実技プログラムの実施。
- ▶ JICA における環境保全活動実績をまとめたものを知りたい(公表資料ありますか)。NGO の環境保全活動に対する JICA の支援方策を知りたい。—公表されたい。
- ▶ 自然環境保全セクターのみでなく、社会インフラと貧困、農村、ジェンダー、他分野のセクターにおいても一般とのコミュニケーションや情報公開の機会を拡充して欲しい(国民・開発関係者)。
- ▶ JBIC にて同様の業務に携わっており、非常に学ぶことが多かったです。ありがとうございます。